

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり構想部会 【バリアフリー構想の実現に向けて】

1. 東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり構想(以下、バリアフリー構想)とは

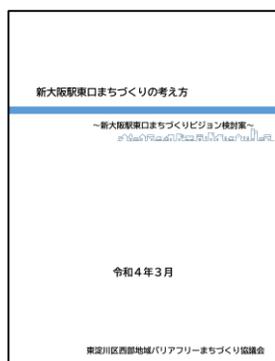
東淀川区では事業者・行政等の支援・協働のもと、地域が主体となり、地域の課題等について共有した上で、10年後・20年後の「暮らし方」や「まちの姿」を描き、まちづくりの基本理念・目標等を定めるため、平成28年1月に地域・事業者・行政で構成される東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会を設立しました。

議論を積み重ね、平成30年3月に「東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり構想」が策定されました。バリアフリー構想で示されている、まちづくりの基本理念は以下の通りです。

まちづくりの基本理念(まちの将来像)「みんなで つながる ふだん暮らしのまち」

2. バリアフリー構想の役割

バリアフリー構想は、東淀川区西部地域において今後進められる「まちづくりや開発事業」が目指すべきまちの将来像を示します。「新大阪駅東口まちづくりビジョン検討案」においてもバリアフリー構想の考え方が反映されました。

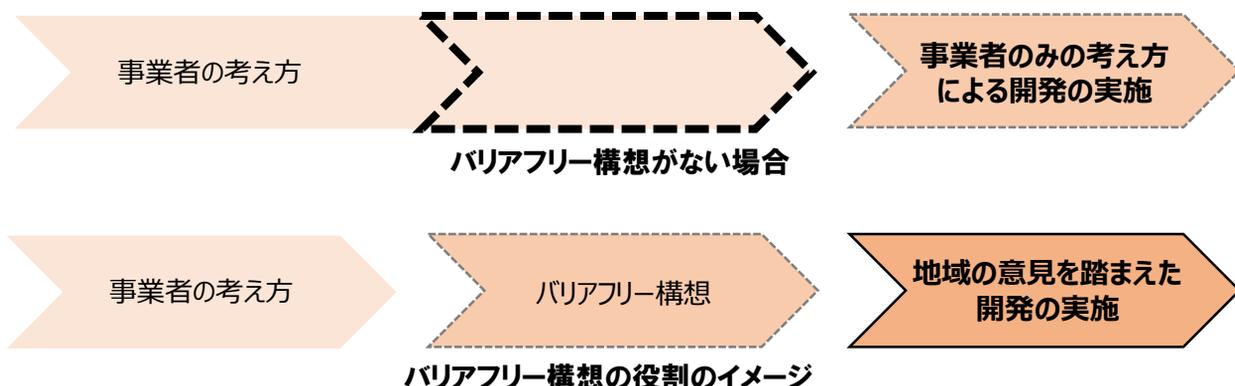


これら3つの柱をまとめたものをまちづくりの方向性とし、それぞれの柱を一体化させ、人にやさしく、玄関口にふさわしいバリアフリーまちづくり構想の実現に向けた、新大阪駅東口のまちづくりを進めていきます。

引き続き、民間活力による未利用地の活用方策など、まちづくりの具体化に向けた検討を進めていきます。

新大阪駅東口まちづくりビジョン検討案より抜粋

開発など地域へ影響のある出来事に対して、地域の在り方を示す役割が期待されます。



3.アクションプランの役割

アクションプランの役割は各地域がバリアフリー構想の9つのテーマに対して、取り組むべき（取り組んできた）地域活動（行動）を整理し、地域で共有・連携することです。

第三の居場所づくり・
孤独を作らない

子育てがしやすい・
子どもの孤食をなくす

高齢者が安心して暮らせる

誰にもやさしい
ユニバーサルデザイン

楽しい地域活動ができる

人と人をつなぐ垣根を越えた関係

多様な世帯にとって
住みよい住環境

世界各地から人が集まり
交流が生まれるまち

歴史や文化を尊重するまち

バリアフリー構想の9つのテーマ

4.バリアフリー構想の実現に向けたアクションプランの策定の経緯

バリアフリー構想の実現に向けて、構想部会での議論や各地域でのワークショップ、先進事例の見学などを行い「アクションプラン」の検討を進めています。

H30年度

R元年度

R2年度

R3年度



各地域でのワークショップ



先進事例の見学



構想部会の様子



構想部会の様子

5.アクションプラン策定の流れ

アクションプラン策定は次の3ステップで行います。

ステップ1
意見収集の環境作り

ステップ2
地域活動の整理

ステップ3
アクションプランの作成

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会事務局が、次のような支援を行います。

ステップ1

- ・地域内で東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会やアクションプランの策定についての説明会等、意見収集がしやすい環境作りの支援を実施

ステップ2

- ・意見収集や資料作成の支援を実施
- ・ワークショップの運営支援など顔の見える策定支援を実施

ステップ3

- ・アクションプラン作成支援を実施

- 東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会の開催状況などは区役所のHPで確認できます。

<https://www.city.osaka.lg.jp/higashiyodogawa/page/0000510316.html>

